

1 主題 心からの信頼 (友情、信頼)

2 指導の立場

＜子どもの実態から＞

この時期の子どもは、友達と互いに理解し合い、よりよい関係を築き継続していきたいと願う気持ちが強い一方、友達関係を崩さないよう相手に無批判に同調し、一定の距離をとった関係しかもたない子どももいる。また、異性に対しても、異性に関心がある反面、誤った理解から様々な問題が生じることもある。本学級においても、学習面においては、友達や異性に対して、相手の考えを受け入れ、自分の考えを伝えて理解し合おうと行動できる一方で、生活面では、友達との関係を大切にする余り、自分の本当の思いを伝えられなかったり、友達と違う選択や行動をすることに後ろめたい気持ちを感じたりする子どもも少なくない。

そこで、次のような主題を設定する。

＜主題について＞

本主題は、友達の思いを尊重したり、互いの幸せを願ったりする心情と態度を育むことをねらっている。ここでは、自分の思いを友達に素直に伝え、互いを理解することのよさに気付かせ、友達との信頼関係についての考えを深めさせることが大切である。そこで、教材「二人の進路選択」を読み、互いの進路選択においてどのような思いがあればよかったのかを基に友達との信頼関係について話し合わせる。このような活動を通して、友達に自分の思いを素直に伝え、互いを理解し、励まし合い、高め合える友情のよさに気付くだろう。

そのような学びを実現するために、指導にあたっては、次の点に留意する。

＜指導上の留意点＞

- 導入では、日頃の友達との会話や行動を思い起こさせることで、日常の友達との信頼関係を振り返ることができるようにする。
- 展開では、信頼関係を築くために二人にどのような思いがあればよかったのかについて話し合わせる。そうすることで、双方の立場で多面的・多角的に考え、自分の思いを友達に素直に伝え、相手の気持ちを理解し、互いに尊重し合うことのよさに気付くことができるようにする。
- 終末では、再び、自身の友達との信頼関係を築くためにどのようなことが大切かを振り返らせる。そうすることで、友達にとって自分がどのような存在でありたいかを見つめ直し、友達の大切さや友情のよさに気付くことができるようにする。

3 教材のあらすじ

「二人の進路選択」

出典：あかつき教育図書「中学生の道徳 3」

仲のよい藍子と健は、同じ高校に進学することを楽しみにしていた。健は自分の目標をもち進路を決めたが、藍子は目標がなく、真剣に自分の将来を考えた末、健には相談せずに違う高校に進路を決める。それを知った健は藍子に苛立ち、藍子は自分の思いを理解してくれない健に不信感を募らせ、夜、健が藍子に電話をかける。

4 指導計画（主として人との関わりに関すること「友情、信頼」に関する指導）

7 年	主題：信頼できる友達	教材名：アイツ
	真一と夏樹の行動から、互いのよさや感じたことを話し合う活動を通して、人によりよい関係を築くために大切なことに気づき、どのような相手に対しても理解を深め、互いに向上することのできる関係を築いていこうとする態度を育てる。	
8 年	主題：信頼と敬愛の念	教材名：アイツとセントバレンタインデー
	真一と夏樹のそれぞれの行動について話し合い、二人のよりよい関係について考えることを通して、異性間においても互いに理解し合うことの大切さに気づき、信頼と敬愛の念をもって友達と接していこうとする態度を育てる。	
9 年 (本時)	主題：心からの信頼	教材名：二人の進路選択
	信頼関係を築くために二人にどのような思いがあればよかったのかについて話し合う活動を通して、自分の気持ちを素直に伝え、互いに理解することのよさに気づき、友達の思いを尊重したり、互いの幸せを願ったりする心情と態度を育む。	

5 本時案

(1) ねらい 信頼関係を築くために二人にどのような思いがあればよかったのかについて話し合う活動を通して、自分の気持ちを素直に伝え、互いに理解することのよさに気づき、友達の思いを尊重したり、互いの幸せを願ったりする心情と態度を育む。

(2) 準備 挿絵、ネームカード、ワークシート

(3) 学習の展開

学習活動・内容（発問）	予想される子どもの反応	指導上の留意点	分
1 「信頼」について話し合う ・友達との信頼関係において大切にしていること	ア うそをつかないこと イ 友達の気持ちに寄り添うこと ウ 友達を励ましたり、応援したりすること	・ 日頃の友達との会話や行動を思い起こさせることで、日常の友達との信頼関係を振り返らせることができるようにする。	10
2 範読を聞き、問いを交流する ・2人が進路選択について信頼関係を構築する難しさ	ア 進路選択についてすれ違ったのはなぜか イ 信頼関係を築くために互いにどのような思いがあればよかったか	・ 互いの想いのすれ違いを確認することで、二人に生じている問題に気付くことができるようにする。	40
3 信頼関係を築くためにどのような思いがあればよかったのかについて話し合う	ア 自分も夢に近づきたいと素直に伝えたらよかったと思うよ イ 健は藍子の進路変更に耳を傾け、藍子の考えを尊重するという思いをもっていればよかったね ウ 互いに一番の友達として夢を応援し合う思いが必要だね	・ 藍子と健の気持ちを考えさせることで、二人に共通する思いに気付くことができるようにする。 ・ すれ違いを経て二人の信頼関係は高まったかを問い返すことで、たとえすれ違いがあったとしても互いに向き合うことができれば信頼を深めることにつながることに気付くことができるようにする。	
4 友達との信頼関係について自分の意見をまとめる ・友情、信頼のよさ ・自分と友達とのよりよい関係の構築において大切にしたいこと	ア 相手の考えを尊重し、困っていたら相談したり、助け合えたりできるとよいと思ったよ イ 友達の夢や可能性を信じて応援することが大切だと分かったよ	・ 初めの発問に立ち返ることで、友達との信頼関係についての見方や考え方を深めることができるようにする。	50

(4) 評価基準と方法

自分の気持ちを素直に伝え、互いに理解することのよさに気づき、友達の思いを尊重したり、互いの幸せを願ったりする心情や態度について、今までの自己の在り方を振り返ったり、今後の自己の在り方を考えたりしようとしていたか、発言やノートの記述からみとる。

<メモ>